

## 横須賀乳幼児保護会 平成29年度事業報告

- ・改正社会福祉法の施行に伴い、当法人は評議員会を設置し、4人の評議員に選任された理事6人による新体制で運営されている。
- ・平成29年度は定時評議員会の他、社会福祉充実計画関連の臨時評議員会を開催し、都合2回開催した。
- ・理事会は、年間9回開催し、毎理事会に業務執行状況が報告され、理事全員への情報共有を図っている。理事会では活発な議論が展開され、今後の発展のための足掛かりになった。
- ・各園においては、大きな事故等の発生もなく落ち着いて運営がされている。
- ・社会福祉充実計画を策定し、今年度は玉成保育園の用地を取得した。

### ① 理念

	内 容	平成29年度
利益性	保育の充実 利用者と職員の関係強化 人気のある園に 仕事に生きがいを持ち、社会に貢献している意識を持つ	各園では日ごとにそれぞれの目標を目指し、安定した保育を実施している。
生産性	仕事の質の向上 職員の教育	園長を中心として質の向上を目指して活動している。
社会性	地域社会との連携	近隣地域との協調関係と一体を目指して。

### ② サービス理念

	内 容	平成29年度
サービス理念	基本的マニュアル作り チェックリスト	現在あるマニュアルの整理を行う。

### ③ 外部環境

	内 容	平成29年度
外部環境	社会からの高い評価 日々の保育を大切に保護者から地域へ広まっていく	実習、ボランティアの受け入れを見直した。

④ 内部環境

	内 容	平成29年度
コンプライア ンス	個人情報保護	利用者の個人情報保護 を職員に徹底する。
マネージメン ト	職員の能力 適正の把握	より良い方法を検討し ている。

⑤ 適正配置

	内 容	平成29年度
適正配置	職場の適正によって配置	十分な会議で決定。 職員への事前説明の必 要性について検討。

⑥ 人材育成

	内 容	平成29年度
人材育成	新規採用職員として、保育士2名 を採用し、職員の資質向上を積極 的に推進し人材育成を図る	研修への参加

⑦ 給与決定

	内 容	平成29年度
給与決定	年功序列ではない	検討中

⑧ 苦情解決

	内 容	平成29年度
苦情解決	苦情について	問題に対しては保護者 と園長を中心に十分な 話し合いを行う。 必要に応じてサポート 委員会を開催し対応を 協議する。

⑨ 利用者アンケート

	内 容	平成29年度
アンケート	県社協のアンケート	検討中

# 平成29年度 小光子愛育園 事業報告書

1. 名称 社会福祉法人横須賀乳幼児保護会 小光子愛育園  
 2. 所在地 横須賀市佐野町3-15 046-853-1760  
 3. 定員 99名

## 4. 入園状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	2	11	17	12	19	22	83
5月	3	11	17	12	19	22	84
6月	3	11	17	12	19	22	84
7月	3	12	17	13	19	22	86
8月	3	12	17	13	19	22	86
9月	5	12	17	13	19	22	88
10月	5	12	17	13	19	22	88
11月	5	12	16	15	19	22	89
12月	5	12	16	15	19	22	89
1月	5	12	16	15	19	22	89
2月	5	12	16	15	19	22	89
3月	5	12	16	15	19	22	89
合計	49	141	199	163	228	264	1044

### ※保育士配置、最低基準

- 〈乳児〉 概ね3人に1人以上  
 〈満1歳以上満3歳未満〉 概ね6人に1人以上  
 〈満3歳以上満4歳未満〉 概ね20人に1人以上  
 〈満4歳以上〉 概ね30人に1人以上

### 【就学先】

- |         |    |         |    |
|---------|----|---------|----|
| ・鶴久保小学校 | 9名 | ・大矢部小学校 | 1名 |
| ・公郷小学校  | 4名 | ・大楠小学校  | 1名 |
| ・田戸小学校  | 2名 | ・久里浜小学校 | 1名 |
| ・城北小学校  | 1名 | ・森崎小学校  | 1名 |
| ・池上小学校  | 1名 |         |    |
| ・馬堀小学校  | 1名 |         |    |

## 5. 職員構成

職名	園長	副主任	保育士	調理員	非常勤職員			合計
					保育士	調理員	嘱託医	
職員数	1	1	9	2	1	1	2	17

## 6. 保育目標

クラス以外の友だちとの活動を経験するなかで好奇心・達成感などの気持ちも育ってゆく姿が見られた。絵本をじっくり見たり、好きな遊びに集中できる保育環境が大切であるということ意識できた。

## 7. 行事

### (1)年間

行事	日時	場所
保育参観	平成 29 年 4 月 22 日	小光子愛育園保育室
歯みがき教室	〃 5 月 23 日	小光子愛育園保育室
保育自由参観	〃 6 月 15 日～16 日 10 月 23 日～24 日	小光子愛育園保育室
夏まつり	〃 7 月 8 日	小光子愛育園保育室
スポーツフェスティバル	〃 10 月 7 日	鶴久保小学校グラウンド
ベイビーズ スポフェス	〃 10 月 21 日	諏訪小学校
お泊り保育(年長児)	〃 11 月 10 日～11 日	三浦ふれあいの村
防災教室	〃 11 月 14 日	小光子愛育園保育室
交通安全教室	平成 30 年 1 月 12 日	小光子愛育園保育室
ミュージカル・フェスティバル	〃 2 月 24 日	はまゆう会館
お別れ会	〃 3 月 20 日	小光子愛育園保育室
卒園式	〃 3 月 23 日	小光子愛育園保育室

### (2)月間

身体測定	毎月 1 回
避難訓練	毎月 1 回
お誕生日会	毎月 1 回
お話し会	年 4 回
内科検診	年 2 回(5 月・11 月)
ぎょう虫検査	年 1 回 (5 月)

歯科検診	年1回(6月)
嗜好調査	毎月1回
職員会議	毎月1回
多言語教室	毎月1回
音楽教室	毎月3~4回

## 8. 職員研修実施状況

職員の資質向上のために研修の機会が確保され、研修内容について職場内での報告がされ、受講内容が共有化されている。

実施日	研修内容	場所	参加者
平成29年5月1日 7月5日 平成30年1月31日	幼保小教育懇談会	横須賀学院小学校	園長・保育士2名
平成29年6月8日	これからの発達支援	総合福祉会館	園長・保育士1名
平成29年6月22日	こども達の健康を守るため感染症他	はぐくみ館	園長・保育士1名
平成29年10月29日	普通救命講習会	横須賀市消防局	園長・保育士3名
平成29年11月17日	ノロウイルス・食中毒予防実践講習会	ウェルシティ市民プラザ	保育士1名・調理師1名
平成29年11月24日	幼保小連携研修講座	県立総合保育センター	保育士1名
平成29年12月5日	集団生活でのアレルギー対応	横須賀市役所	保育士1名
平成30年1月16日	ストレスチェック心の健康	セントラルホテル	園長・保育士1名
平成30年2月21日	保育園等給食調理技術講習会	田浦コミュニティセンター	調理員1名
平成29年11月13日 11月14日 11月28日	神奈川県エキスパート等研修	神奈川県総合建築センター	保育士1名
平成30年1月11日 1月15日 1月18日	同上	藤沢市藤沢商工会館	保育士1名
平成30年2月6日 2月13日 2月19日	同上	ヴェルク横須賀	保育士1名
平成30年3月5日 3月8日 3月14日	同上	神奈川県産業振興センター	保育士1名

## 9. 実習生及びボランティア受け入れ状況

### (1) 実習生

平成 29 年 5 月 15 日～ 5 月 26 日 横浜こども専門学校 2 名

平成 30 年 2 月 1 日 ～ 2 月 9 日 聖ヶ丘教育福祉専門学校 1 名

2 月 13 日～ 2 月 24 日 鎌倉女子短期大学部 1 名

### (2) 緑ヶ丘高校保育実習

平成 29 年 7 月 24 日～ 7 月 29 日 5 名

7 月 31 日～ 8 月 5 日 4 名

8 月 7 日 ～ 8 月 12 日 2 名

8 月 14 日～ 8 月 19 日 4 名

### (3) 中学生職場体験

久里浜中学校 4 名 公郷中学校 5 名 坂本中学校 4 名

衣笠中学校 5 名 不入斗中学校 2 名

## 10. 保育 一年を振り返って

### (1) 5 歳児 まつ組

4 月から当番活動。チーム活動・縦割り活動を開始した。特に力を入れた、ほし組(4 歳児)との縦割り活動では、共同制作・お買い物ごっこ・遠足・ミュージカルフェスティバルなど様々なことを一緒に行った。その中で、ルール決めや、作品の作り方など子ども達同士で意見を出し合うことで、ルールを守ろうとする気持ちと意欲も芽生えたと思う。また、リーダーとしての役割が身につくことで、年下の友達の面倒をみたりする姿も見えた。

### (2) 4 歳児 ほし組

担任に甘えたり、自分の思いや感情を出すことで毎日にぎやかなクラス。この一年は、まつ組(5 歳児)と一緒に過ごすことが多く、お店屋さんごっこも、日々の給食の時間も一緒にしてゆくなかで憧れをもち、ひっぱってもらうことで様々な場面で意欲を感じた。行事をひとつずつ終え、自分でできることが増え成長を感じた。

### (3) 3 歳児 ばら組

一日の大半を過ごす保育園の生活は、子ども達にとって居心地の良い場所でなくてはならないという思いでこの一年保育を行った。体操は、毎日続けることによって外遊びでの怪我防止になり、体の動きも少しずつなめらかになった。最初はくしゃくしゃに丸めて楽しんでいた折り紙も、少しずつ形の認識をして作るようになった。昼寝は 1 月から時間を減らし、その時間を 4 歳・5 歳児クラスの縦割り保育に参加した。充実した一年だった。

### (4) 2 歳児 いちご組

年齢に合わせた制作では、みんなが喜び楽しんで行っていた。車で通園する子ども達も多く、散歩に出かけると途中で嫌がってしまう姿もあり、計画には園外保育(散歩)をテーマとして取り入れた。1 月にはなんとか近くの公園まで全員が歩いていき、遊ぶことができた。コーナー遊びを充実させてじっくり遊べる環境を意識した。

#### (5) 1歳児 ちゅうりっぷ組

生活リズムを重要に考えて保育を行った。自分の好きな遊びを見つけて楽しむ、体を動かすこと歌やリズム遊びも保育に取り入れることにより食事や睡眠への導入もスムーズになったと思う。言葉への理解が進むとおしゃべりも始まり、友達とのコミュニケーションに発展していった。寒天を作って感触遊びをしたり、大きな紙を使ったクレヨン画など、家庭では体験できないことを取り入れ大人と子どもも楽しめた。

#### (6) 0歳児 ひよこ組

絵本の製作と手形制作を一年を通して行った。月齢差があり、特に離乳食は安全と衛生に気を使い進めた。3月にはほぼ普通食になった。子ども達の興味や関心を大切に、ひとりひとり寄り添って保育を進め、行事にも無理なく参加できたと思う。

### 1 1. 食育

ミニトマト・オクラ・なすの夏野菜を植えて成長を観察し、実がなると中の種をみたり、皮をむいたり野菜の栽培で食に対する興味・関心を高めた。4歳児クラスも、野菜を使ったおままごと遊びに参加し共有していた。

野菜の手遊び・絵本や紙芝居は給食の前にお誕生日会の出し物として取り入れた。

5歳児クラスでは、給食で使う野菜の皮むきを手伝ったり、野菜の型抜きをしてカレーの具として使ってもらうなどを楽しむことができた。就学を前に、模擬給食当番も経験し、配ぜんも行った。

## 29年度 小光子愛育園分園きらきら星 事業報告書

- 1、名 称            小光子愛育園分園 きらきら星
- 2、所在地           横須賀市日の出町1-6 フォレースよこすか3F・2F
- 3、定 員            0歳児 9名            1歳児 12名

### 4、入園状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5
1歳児	12	11	12	13	13	12	13	13	13
合計	17	16	17	18	18	17	18	18	18

1月	2月	3月	合計
5	5	5	60
13	13	12	150
18	18	17	210

### 5、職員構成

職員	園長 (※)	主任	保育士	調理員	非常勤職員			合計
					保育士	調理員	嘱託医	
職員数	1	1	7	1	1	2	2	15

(※) 本園と分園を兼任



## 6、保育目標

- (1) 個々の生命の維持と情緒の安定を図る
- (2) 基本的な生活習慣を身に付けられるようにする
- (3) 生活や遊びの中で物事をよく見つめ、考え、探求する心を育てる
- (4) 心身ともに健康で思いやりのある子を育てる

以上のことを基本方針として29年度を行っていった。

初めての保育園生活を、子ども達も保護者も出来るだけ安心して通ってもらえるように保護者、職員間での連絡を密にとり、小規模保育の利点として全職員が全園児を把握できるように努めていった。子どもたちは素直にありのままの姿を見せてくれ、その姿を受け入れ、見守っていく中で日々大きな成長を見せていってくれた。

年度末には保護者の方と子どもたちの成長を実感し、共に喜び合うことが出来た。

29年度の試みとして「食育」として自分たちで育てた野菜を食べることに力を入れていった。種まき、水やり、観察など小さな子どもたちなりに遊びながら楽しむことが出来ていた。収穫では取った野菜を手に満面の笑顔を見せてくれ、給食で野菜が出た際には喜んで食べていた。子どもたちの食への興味に少しでも繋がればよいと思う。

## 7、保育 ～1年を振り返って～

### <0歳児 ひよこ組>

6月から1名増え、男児3名、女児2名の5名で、早い時期からすぐに慣れ、園でのリズムで過ごし遊んでいた。初めは一人遊びが中心だったが夏が過ぎ、他児に興味を持ち始める。離乳食から徐々に普通食になり手づかみ食べからフォークですくって食べようとし、食欲旺盛で好き嫌いなく食べ、ご飯の盛りを増やしてもらうこともあった。食事、着脱などの身の回りの事を自分でやろうとする気持ちが強く、手伝うと嫌がることもあった。言葉も喃語から一語文や二語文で思いを伝えられるようになっていった。冬頃には、他児の遊びを真似して一緒に遊んだり、手をつなぎ笑い合い、抱きついたりと5人で仲良く遊ぶようになった。

### <1歳児 ちゅうりっぷ組>

13名、毎日とてもにぎやかなクラスだった。初めは約半数が新入園児であったが、一時保育を利用していた子どもも多くすぐに園生活に慣れてくれ、桜を見に散歩へ出かけたり、手型スタンプで製作したりが早いうちから出来た。お歌やダンス、おしゃべりが大好きでお友だち同士の関りも多く、日に日に絆が深まっていき、まとまってのごっこ遊び等をよく楽しんでいた。低月齢の子たちも高月齢児たちに負けじとついていったり、それぞれとても理解力があり、身の回りの事や製作活動、あそび等一人で出来ることがどんどん増えてい

った。また、夏はきゅうりにひまわり、朝顔、秋以降はにんじん、大根、チューリップをプランターで育てた。特に大根収穫は子どもたちも自分で抜ける為喜びも多く、収穫した野菜は給食のおかずで出してもらい定期的に食べ、味わい食育に力を入れた一年だった。

#### <ワンデーナーサリー>

幼稚園入園前の慣らし保育（2歳、3歳）の利用が多く、最初の頃は食事もほとんど食べられない子がいたが、利用を重ねていくうちに他児に刺激され食べられる量が増え、おかわりが必須になるなど食欲旺盛になっていった。また、常連やあいらんどからの紹介などで、秋頃から人数も増え、毎日にぎやかで顔見知りの子どもたちは名前を呼び合うなど友だちとの関係が密になっていく姿が印象的だった。初めて利用する子は少しずつ慣れていけるように、なるべく短時間から利用してもらい、職員、保護者間で話しあいながら時間を延ばしていくようにした。少しずつ延ばしていく事で子ども自身にとっても負担にならず、保護者も心配する方が多かったため良い時間設定になったと思う。

これからも色々なニーズに応えていき、意義のある一時保育にしていきたい。

## 8、給食

29年度から在園児の離乳食は、家庭で食べたことのある食材にチェックをつけてもらうリストを作成し、それを元に離乳食を一人ひとり盛り付けていった。一時保育に関しては今まで通り、進み具合によって盛り付ける食材を決めておき、それを提供していった。

普通食は逆に、家庭でまだ食べていない食材を抜いて調理し、提供していくようにした。在園児のアレルギーの子はサラダ油を米油に変えて調理していくようにした為、炒め物やドレッシングも米油での調理にし、なるべく普通食の他の子どもたちと同じものを提供できるようにしていった。

提供方法を変えた為、細心の注意を払いながら一人一人の給食を確認し調理していった。

## 9、特別事業

### (1) 一時保育

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
98	115	135	109	100	109	138	156	138	135	121	169

### (2) 休日保育

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17	16	19	27	17	23	23	22	22	15	10	21

※29年度の一時保育は数名が仕事での利用だったが、母親のリフレッシュや幼稚園や保育園入園に向けての慣らし保育が多くみられた。ベースに住む家庭の利用も多く、家庭同士での紹介などを通じて利用児がほとんどハーフの子どもたちだけの日もあるなど、益々国際色豊かな一時保育になっていった。

予約開始とともに電話での予約が殺到し、なかなか予約が取れないとの声も多くあった。比較的休日保育は予約が取りやすく、直近での予約にも対応するようにしていった。

## 10、行事

### (1) 年間

行事	日時	場所
入園・進級	29年4月1日(土)	きらきら星
バースデーパーティー	① 29年6月10日(土) ② 29年9月9日(土) ③ 29年12月16日(土) ④ 30年3月24日(土)	きらきら星 " " "
おはなし会	① 29年6月12日(月) ② 29年9月13日(水) ③ 29年12月14日(木) ④ 30年3月8日(木)	きらきら星 " " "
スポーツ フェスティバル	29年10月21日(土)	諏訪小学校 体育館
ミュージカル フェスティバル	30年2月24日(土)	はまゆう会館
卒園式	30年3月24日(土)	きらきら星

#### <バースデーパーティー>

年4回に分けて季節に合わせた保育参観と合わせて誕生日会を行っていった。

時間設定を短くし、子どもたちが無理なく参加できるようにし、保護者の方と一緒に日々の活動や、夏祭り、クリスマス会などの季節に合わせた内容を計画し楽しめるようにしていった。家庭とは違った子どもたちの姿を見ることが出来たとの声を頂いた。

### <スポーツフェスティバル>

小光子の0、1歳児と合同で諏訪小学校の体育館を使い行った。ハロウィンをテーマに可愛い簡単な仮装を取り入れ気分を盛り上げていった。

子どもたちの出来る簡単な競技を中心に、保護者と一緒に楽しめる競技や、兄弟たちも参加出来るものを用意していった。約2時間と短い時間で計画できた為、子どもたちも疲れすぎることなく、最後まで楽しめることが出来ていた。

### <ミュージカルフェスティバル>

小光子と合同で、はまゆう会館で行った。日々の保育の中で、遊びとしてダンスを取り入れていったので、子どもたちも楽しみながら行っていた。当日はお休みする子なく、全園児参加し、この一年で成長した姿を見せてくれた。

### <その他>

お月見、クリスマス、節分、ひなまつり等その季節に合わせた行事を日々の活動に取り入れていった。園児だけでなく一時保育を利用している子どもたちも一緒に参加していき、賑やかで楽しい時間となった。子どもたちの様子などは連絡ノートや写真を掲示し保護者の方に見てもらえるようにしていった。

### (2) 月間

発育測定	毎月1回 15日(土日にあたる日は後日)
避難訓練	毎月1回 20日(土日にあたる日は後日)
内科検診	年2回 (6月、1月)
歯科検診	年1回 (6月)
ぎょう虫検査	年1回 (5月)
職員会議	毎月1回 他に昼、夕会議

※年間・月間共に計画通り実施できた。

### 11、職員研修

日付	研修内容	場所
6月8日	これからの発達支援	総合福祉会館
6月17日	打楽器表現&リズムあそび実技	茅ヶ崎市役所分庁舎
6月22日	子どもの健康を守るために ～感染症対策を中心に～	はぐくみ館
8月8日	集団生活での乳幼児アレルギー	藤沢商工会館

9月28日	1部子どもの成長～一緒に考えよう～ 2部子どもの成長と視力の発達	ヴェルクよこすか
10月29日 11月9日	普通救命講習	横須賀市消防局
11月16日	初期消火体験	あんしん館
10月20日 11月2日	接遇リーダー研修	社会福祉会館
11月30日	児童福祉施設給食関係者研修	神奈川近代文学館ホール
12月5日	集団生活での乳幼児アレルギー	市役所本庁舎
11月13日 14日 28日	神奈川県保育士エキスパート等研修 保健衛生・安全対策	神奈川総合薬事 保健センター
2月5日 12日 19日	神奈川県保育士エキスパート等研修 乳幼児保育	神奈川総合薬事 保健センター
2月6日 13日 19日	神奈川県保育士エキスパート等研修 保健衛生・安全対策	ヴェルクよこすか

※研修に参加した職員が研修で学んだものを持ち帰り、ほかの職員へ伝えたり、資料を見ることで共有していき、保育の向上に努めていった。

## 12、実習及びボランティアの受け入れ状況

### <看護実習>

神奈川衛生学園専門学校 看護学科 2年生

30年1月22日～1月26日 6名

2月13日～2月16日 6名

3月5日～3月9日 5名

### <夏季保育実習>

緑ヶ丘女子高等学校 1～3年生 保育科・普通科

29年7月24日～7月29日 4名

7月31日～8月5日 4名

8月7日～8月12日 4名

8月14日～8月19日 3名

8月21日～8月26日 4名

<体験学習>

29年6月1日~2日	神明中学校	2年生	2名
11月7日~9日	大津中学校	2年生	2名
11月8日~10日	常葉中学校	2年生	2名
11月8日~10日	馬堀中学校	2年生	2名
11月15日~16日	久里浜中学校	2年生	2名

平成29年度

事業報告

玉成保育園

## 平成29年度 玉成保育園職員・園児の概況

1. 名称 社会福祉法人横須賀乳幼児保護会 玉成保育園
2. 現住所 横須賀市三春町5-32
3. 定員 60名
4. 入園状況

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
66	108	127	132	134	132	699

(1年間総在籍数)

### 5. 職員構成

職員	園長	副園長	保育士	調理員
職員数	1名	1名	10名	2名

非常勤職員				合計
保育士	調理員	嘱託医	看護師	18名
3名	1名	2名	1名	(3名)

「子どもたちの成長・・・」

毎日過ごす中で、ちよつとずつ、少しずつ心も体も大きくなっていきます。すぐに結果が出る事ばかりではなく、目に見える事ばかりではないけれど、毎年4月を迎えるたびに、「1年前の4月は〇〇だったのにねー」と1年たってみて改めて大きな成長を実感しています。

嬉しいな・悲しいな・好きだよ・嫌だな・・・たくさんの気持ちがある中で、子どもの世界はさまざまな事が起こります。そして、子ども同士から多くの事を学びます。

そんな子どもたちを今後も保護者の皆さまと一緒に見守っていきたいと思っています。

私たちの思いは同じ 「子どもたちの健やかな成長を願って・・・」



延長保育

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10名	9名	10名	6名	6名	9名
10月	11月	12月	1月	2月	3月
9名	9名	9名	9名	9名	9名

\*健康診断

内科検診	5月17日	11月22日	高宮小児科
歯科検診	6月	8日	谷歯科医院
ぎょう虫検査	5月		鈴木クリニック
職員健康診断	4月・5月		鈴木クリニック

\*月間・年間行事

スポーツ フェスティバル	10月7日	山崎小学校
お泊り保育(年長児)	7月21日・22日	
音楽会	12月9日	文化会館
ミュージカル フェスティバル	2月10日	はまゆう会館
保育参観	4月 7月 3月	
自由参観日	毎月1~2回	
お誕生日会	毎月	
卒園式	3月22日	

\*職員研修

4月27日	就学前教育と小学校の連携講座
5月10日	幼保小教育懇談会
6月 5日	3歳児保育研修
6月 8日	保育内容研修
6月15日	1歳児保育研修
6月17日	研修会～笑顔いっぱい保育～
6月28日	就学前教育と小学校の連携講座
7月 5日	幼保小教育懇談会
8月 8日	食物アレルギーについて
9月11日	1歳児保育研修
9月15日	3歳児保育研修
11月8日	幼保小教育懇談会
11月13日	ボディメンテナンス講座他
1月31日	幼保小教育懇談会

## 自由参観日

毎月2回、10時～14時の間、自由に子ども達の保育園での様子を見て頂く自由参観。

普段のクラス別保育や給食の様子を見て「家では〇〇なのに園ではやってる」など、直接見て頂いたからこそ分かる園での子どもの姿。

乳児クラスでは、食事面を気にされている方も多く、食事の量やメニュー園での様子を聞かれる方が多い。

幼児クラスでは、食事面はもちろん、子ども同士の関わりや活動内容なども見てもらえる場となった。

## 保育参観

新年度が始まり、入園、進級おめでとう！と新しいクラスでみんなが集まり、自己紹介や親子製作などを行った。

夏は、いつもと違った夏バージョンのお祭り。保育園にお店屋さんがたくさん出て、子どもも保護者も一緒に楽しめる楽しいひと時。

学期末の参観では、内容はクラスによってさまざまだが、どのクラスも保護者も保育士も子どもたちの成長を感じることが出来る参観となった。

## クラス懇談会

今年度は、年に2回実施された。(6月・3月)

どのクラスも各ご家庭での子ども達の園での様子や心配事などを保護者と保育士が意見交換する。時には楽しかったエピソードを交えて、笑いあったりいつも、なかなかゆっくりと話が出来ない保護者同士がコミュニケーションをとる良い機会になっているようである。

## 個人面談

まつ組から順に個人面談の希望を随時受け付ける。  
懇談会では、なかなか話せない心配事なども、担任とゆっくり話す時間をつくる。  
何か問題があれば早めに対応し、解決の糸口を見い出せればと園としても考えている。今後も各クラス実施していきたいと思う。

## 給食

子ども達の健やかな成長に欠かせない一つ「食育」  
給食やおやつを楽しみにしてくれている状況を聞くと、とても嬉しく思うと同時に、より食べやすい状態、工夫を... と考えながら提供してきた。  
実際、なかなか子どもたちの喫食状況を見て回る事が時間的に難しいことが多く、残食を見て「たくさん食べてくれた」と安心している現状である。  
これからの課題として、出来るだけ子どもたちと、ふれあい、共有の時間を持つようにしていきたいと思う。  
アレルギー児の給食提供に対して食器を全て専用に変えたことで、より分かりやすくなり、間違えや事故もなく対応出来た。今後も十分に配慮していく。

## スポーツ フェスティバル

10月7日 山崎小学校にて開催。  
朝は小雨が降ったりやんだり。体育館でスタートした。その後、時期がたつにつれ雨も上がりプログラムの順番を調整し昼食以降グラウンドへ移動し競技を行った。保護者の協力もあり大きなトラブルや怪我もなく無事に全ての競技を行うことが出来た。移動もスムーズだった。  
クラスが大きくなる毎に勝負に対する思いも強くなり最後のリレーでは一人一人が一生懸命走り抜け主役だった。

## おとまり保育

7月21、22日、保育園内でお泊り保育を実施。初めて園内にて行うので安全に楽しく過ごせる様に取り組んだ。夕食のカレー作り、花火、スイカ割り、砂絵、朝ご飯のお買い物と全て「初めて」をテーマに進めた。子どもたちはいつもと違う保育園にドキドキ、ワクワクしていて、たくさんの笑顔が見られた。また、全スタッフがローテーションでまつ組の子どもたちと関わる事が出来た。

## 音楽会

今年度はクリスマスをテーマに行う。

乳児クラスは毎日朝の会、帰りの会で無理なく練習する事で本番まで楽しみながら、取り組むことが出来た。

幼児クラスは本格的に楽器に挑戦し、乳児とはまた違う真剣な表情などが見られた。保護者も全ての子どもたちを温かく見守ってくれ優しい雰囲気の中で行う事が出来た。

## ミュージカル フェスティバル

2月10日、大きなイベントとなるミュージカルフェスティバルをはまゆう会館にて開催。毎日練習する中で少しずつ上手になっていった子どもたち。本番では緊張しながらも立派に舞台に立つことが出来た。終わった後も、体操として取り入れ全クラスの踊りを踊れるようになり、園児全員で楽しんでいる。

## 園内での季節行事

5月	こいのぼり集会
7月	七夕集会
10月	ハロウィンパーティー
12月	クリスマス会
2月	豆まき集会
3月	ひな祭り会 まつぐみお別れ会

\*お誕生日会は毎月開催

どの行事も子ども達は楽しく参加していた。

\*HIPPO

月1回。まつ・ほしぐみが参加。  
多国語を遊びと音楽を通して楽しく学ぶ。

\*お話し会

年4回。ボランティアの方が季節に合わせたお話を  
読み聞かせに来園。乳児、幼児に分かれて参加。

## ひよこ組 （0歳児）

入園当初は、泣いてしまう子もいたが、思っていたよりも慣れるのが早く、落ち着いた生活を送ることができていた。生活の中では、月齢に合わせた活動を行いながらも、1歳児と合同で遊ぶ機会を多くもち成長を促していった。その中で自分でやりたいという気持ちや集団で遊ぶことを学んでいった。食事面では、野菜が苦手な嫌がる時期もあれば、食欲が増したりと様々で時期や体調の変化に留意しながら個々に合わせて対応していった。また、時々食後に体に湿疹や赤みの反応が出る子には保護者との連携、職員間の情報の共有を意識して行い安全な食事を心がけ対応した。

定期的に保護者と話す機会をつくったことで子どもの様子を共有することが出来た。最後の懇談会でも成長を感じられ嬉しく思うとの言葉も聞いた。

## ちゅうりっぷ組 （1歳児）

新入園児4名が入り元気な9名でスタート。

当初はなかなかクラスとしての生活が難しく、生活の流れが安定するまで少し時間もかかったように思う。色々なことに興味があり、全身を使った遊びから、指先を使った製作も楽しんで参加していた。夏頃から少しずつ身の回りの事にも興味をもちはじめ、自分で…と取り組む姿が見られるようになり、出来た時の達成感を味わい保育士と共感することで喜びを感じるようになった。個の遊びから集団へと変わり、ひとつの事を共有し楽しめるようになり自然と言葉でのコミュニケーションも増えてきた。3月に入りペイント遊びを行うと4月には触れられなかった絵の具にも進んで触れている姿が見られ思い切り楽しむことが出来た。

## いちご組 (2歳児)

新入園児6人が加わり、11人での生活が始まった。当初は、イヤイヤ期の真っ最中の子、集団生活に慣れずに泣いている子、友達との関わりに困っている様子の子とクラスのまとまりよりも個の対応に配慮した生活を心掛けた。トイレを嫌がる子や園での排便が出来ない子もいたが、無理せず個々に合わせたトレーニングを行った。秋頃から友達同士で遊ぶ姿も多く見られるようになり、ごっこ遊びを楽しんでいた。製作では月齢差や興味の有無もあり、少人数での取り組みをすることで個の様子を観察しサポートした。クレヨン画では顔のパーツを描ける子も増えてきた。行事を通して子どもたちの中に団結力が芽生え、教えあったり、応援する姿も見られた。生活面では簡単な身の回りの事がスムーズに出来るようになり、パンツでの登降園をする子も増えていった。

## ばら組 (3歳児)

4月進級し、2階の保育室に生活に移り、子どもたちはちょっぴり、お兄さん、お姉さんになった自覚もあり、期待と喜びでいっぱいの様子からのスタート。

生活面での動線が変わる事で、心身の心配もあつたが大きく乱れる事なく個々への対応もでき、日々楽しく生活することが出来た。初めてのお弁当、初めてのワーク、初めてのハサミとワクワク、ドキドキの毎日。「今日何する?」「明日何する?」と楽しみにしている子も多く見られ、また、健康面でも体調不良での欠席がほとんどいなかったので、日々の保育を工夫し製作をはじめ、楽しく保育に参加出来るように心掛けた。自我の強さから自分本位になってしまい相手の気持ちが理解できず、傷つけてしまう時期もあつたが、行事を重ねるたびに、チームワークの大切さや団結力を学んだ。言葉のトラブルから手が出ていた子も会話でのコミュニケーションもスムーズになり、幼児らしさが見られるようになる。また、身の回りの事も出来、困った時は泣くことなく、保育士に伝えられるようになった。1年を通じて心も体も大きくなった事を実感する。

## ほし組 （4歳児）

元気いっぱいの子どもたち。保育室も前年と同じという事で変わりなく4月がスタート。新しい教材の色鉛筆に喜び、好んでぬりえを楽しむ子どもが増える。スポーツフェスティバルの練習には真剣に取り組む姿が見られた。負けると悔しくて泣いてしまったり、勝つと全身で喜び素直な子どもたち。だからこそ、言葉でのトラブルも多い。日々の保育の中で気持ちの伝え方、相手の気持ちを考えていこうと声をかけた。音楽会では初めて触れる楽器に興奮し全員で演奏出来ると友達と喜ぶ姿が見られた。ミュージカルフェスティバルはオープニングにも参加。オペレッタ、クラスダンス共に練習を楽しんで取り組み自由遊びの時間も自分の振り付けだけでなく友達の振り付けも踊ったりしていた。

製作にも興味をもち見本を見せると「そうやって作るのか」「やってみたい」という声も聞かれた。

## まつ組 （5歳児）

年長クラスになったことで4月当初から自覚が芽生え自信をもった表情が伺えた。自分だけの絵の具セットや毎月のよいこの学習など、とても喜んで使い大切に扱う姿も見られた。女の子が多いクラスだったので気持ちの伝え方、受け取り方の違いからトラブルもあり、状況を見て対応し配慮に心掛けた。1年を通して何でも『自分でやってみる』子が増え、状況に合わせて考えて行動するようになった。昼食では、おしゃべりに夢中になって食が進まない事もあったので、就学に向けて終わりの時間を決めた事で、時計を気にする様子も見られ食事のペースもほとんどの子が改善された。

今年度初めて、お泊り保育が園内で行われ、初めてのカレー作り、初めてのお泊まり、初めてのお買い物と沢山の初めてのを経験でき、子どもたちも更に自信がついた事で、その後の行事の取り組みも下学年のお世話をしながらも、年長児としての行動がとれた。

それぞれ小学校にすすんでも、自信をもって頑張ってもらいたい。と、願い卒園の日を迎えた。



## 保育実習・職業体験

### \* 職業体験 (中学生)

公郷中学校 (6名) 7/6 大津中学校 (3名) 11/7~9  
馬堀中学校 (3名) 11/8~10 大矢部中学校 (3名) 11/7~9  
久里浜中学校 (4名) 11/15. 16 不入斗中学校 (3名) 1/17~19

初日は緊張していたり、戸惑う様子も見られたが、日が経つにつれて子供達にも慣れ、充実した楽しい時間を過ごせていた。複数の学校が重なっての受け入れではあったが、トラブルもなく過ごせた。

### \* 保育実習 (緑が丘高等学校)

7/31~8/5 (1年生) 8/14~8/19 (2年生)  
8/21~8/26 (3年生)

### \* はまゆうキャンプ (高校生)

7/26~28 (9名)

緑が丘の学生は、幼児教育コースの学生ということもあり、実習にも早く慣れ子供たちとも笑顔で接している姿が見られた。また今年度は、福祉に興味がある市内の高校生たちがボランティア活動で3日間来てくれて、子どもたちも、とても喜んでいました。

### \* 保育実習 (大学・短大・専門学校)

横浜子供専門学校 7/24~8/4 (1名)  
10/31~11/2 (1名) 2/26~3/2 (1名)  
横浜短期大学 9/4~16 (2名)  
帝京科学大学 8/14~9/16 (1名)  
田園調布学園大学 2/13~24 (2名)  
聖ヶ丘教育福祉専門学校 9/5~16 (2名) 1/29~2/9 (1名)  
2/19~3/2 (1名)  
大原学園 9/4~16 (1名) 2/13~24 (2名) \*うち10日間

学校や学年によって、実習目的や実習ノートの違いがあるため、内容を把握した上で各自に合わせて行った。意欲的に取り組む学生が多く、ピアノの弾き語りに挑戦したり、指導案を積極的に取り組むなどの姿が見られた。